

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	適応性空間の化学／Chemistry of Adaptable Space
研究代表者	北川 進 (京都大学・高等研究院・特別教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、多孔性配位高分子の多様性と多彩な機能性に注目し、材料単体の機能のみならず、結晶ネットワークを異方的に融合・集積化することで、外部刺激・環境変化に高次に応答する適応性空間の創出を目指す、挑戦的かつ意欲的なものである。研究内容は極めて独自性が高く、配位高分子化学領域に多機能融合・非平衡応答という新たな概念が生まれる可能性がある。</p> <p>応募者は、当該分野の先駆者であるばかりでなく、世界でも有数の研究業績を上げており、本研究を遂行可能な唯一の研究者であり、十分な研究成果を上げることが期待できる。</p>